**ISO TC154 総会報告**

会議形式：ハイブリッド

オープニングセッション：10月13日

WG報告&リエゾン報告：10月14日

クロージングセッション：10月14日

TC154 Chair： Yu Shi (China)

TC154 Committee Manager： Jianfang Zhang (China)

ISO Technical Program Manager： Laura Mathew

2022年のISO TC154総会は、欧州国連本部（ジュネーブ）での対面形式とWebexによるオンライン形式のハイブリッドで開催された。

日本からは、TC154国内審議会でWG1（EDIFACT）及びWG7（Digital Business）担当の菅又久直（Head of Delegation）とWG6（Trusted eCommunication）担当の佐藤 雅史氏がオンラインで参加した。

会議はTC154議長のMr. Yu Shiの采配のもとに進行された。

1. **ISO/IEC Directive Update**

ISO事務局Technical Program ManagerのMs. Laura Mathewより、ISO/IEC Directive（指令）の変更点などの説明がおこなわれた（ISO/TC 154 N 1349）。

* 複数回CD（Committee Draft）投票を軽減するため、コメントを求めるためのCD Consultation制度が導入された。
* Advisor Group及びAd hoc Groupの設置はTC（Technical Committee）で決議することができる。
* TR（Technical Report）についてのNP（New Project）投票は不要で、総会の決議（Resolution）によりプロジェクトを発足できる。
* PAS（Public Available Specification）及びTS（Technical Specification）の審議において重要な変更（TitleやScopeなど）がある場合は賛成３分の２ルールによる決議（Resolution）を必要とする。
* ２度目のDIS（Draft International Standard）投票を可能とする。
* TC（Technical Committee）会議の開催案内は8週間前までに行う。
* WG（Working Group）会議の開催案内は4週間前までに行う。
* ISO/IECが進めるSMART（Standard Machine Applicable Readable and Transferable）プロジェクトの紹介が行われた。
* 2030年までにターゲットとする標準化領域は次の通り。
* 気候変動対応ソリューション
* 弾力性のある食料供給システム
* デジタル化の支援
* 国際標準に対する見方
* 水資源の希少性を解決するイノベーション

1. **Committee Manager Report**

TC154事務局Committee ManagerのMr. Jianfang Zhangより、TC154の体制、活動及び課題につき発表が行われた

* TC154の体制：
* P（Participating）メンバー：17（日本はPメンバー）
* O（Observing）メンバー：27
* 内部リエゾン：16委員会
* 外部リエゾン：21団体（AFACTは外部リエゾン）



TC154体制図

* WG委員長（Convenor）

WG1: Anders Grangard

WG4: Ronald Tse & Jamie Clark

WG5: Ronald Tse

WG6: Jasmine Jang

WG7: Jim Wilson

WG8: Dapeng Liu

CAG: Shi Yue

* 2022年の標準化進捗状況
* 標準の公開
* ISO 9735-10:2022 Application level syntax rules Part 10: Syntax service directories
* ISO 9735-11:2022 Application level syntax rules Part 11: Version 3 compatible profile for Version 4 of ISO 9735
* ISO 14533-1:2022 Long term signature profiles — Part 1: Long term signature profiles for CMS Advanced Electronic Signatures (CAdES)
* 開発中の標準
* ISO/DIS 5054-1 Specification for an Enterprise Canonical Model — Part 1: Architecture
* ISO/WD 5909 Data interchange processes of blockchain based negotiable maritime bill of lading related to e-Commerce platform
* ISO 8601-1:2019/FDAmd1 Date and time — Representations for information interchange — Part 1: Basic rules
* ISO/DIS 15000-3 Electronic business eXtensible Markup Language (ebXML) — Part 3: Registry information model specification (ebRIM)
* ISO/DTR 16340 Application of blockchain-based traceability platform for cold chain food
* ISO/AWI TR 19626-3 Trusted communication platforms for electronic documents — Part 3: Blockchain-based implementation guideline
* ISO/DIS 23355 Visibility data interchange between logistics information service providers
* ISO/DIS 34000 Date and time — Concepts and vocabulary
* 提案中の標準
* ISO/PWI 34100 Date and time – Reference time scales
* ISO/PWI 34500 Date and time — Temporal reference model
* ISO/PWI 16356 Data and process of edible agricultural products based on blockchain and DLT application
* ISO/PWI 16320-1 Documents and processes in e-commerce – Smart contract-based B2B electronic transaction execution and verification – Part 1: Reference model
* ISO/PWI 8601-3 Date and time — Representations for information interchange — Part 3: Semantic representation
* ISO/PWI 36200 Standardization documents -- Metadata
* ISO/PWI 4555 Specification for e-Commerce development index data model
* SMARTパイロットプロジェクト

ISO/AWI TR 19626-3がISO/IECのオンライン標準開発（OSD: Online Standards Development)のパイロットプロジェクトとして進められている。

1. **Working Group Report**

各WG（作業グループ）の委員長（Convenor）より、WGの活動報告が行われた。

1. JWG1: Joint Syntax Working Group

JWG1はUNECEとの合同WGで、EDIFACTシンタックスのメインテナンスを担当。

* 2022年にISO9735-10（EDIFACTサービスコード）及びISO9735-11（EDIFACT V4にV3との互換性を追加）プロジェクトはISを公開して完了した。
* 現在活動中のプロジェクトはなく、EDIFACT V4の導入ガイド作成プロジェクトを始めるか否か検討中。当導入ガイドのニーズがはっきりせず、プロジェクト開始の決議は提案しなかった。

**２**WG4: Standardized Document

WG4はUN Layout Keyなどの文書標準、及びその電子版を担当。

* 当WGで唯一のプロジェクト：電子文書のメタモデル標準（WG36100）の作業は中断しており、スケジュール遅延理由で自動的にプロジェクトはキャンセルとなった。
* WG4のプロジェクトが存在しなくなったため、WG解散がTC決議（リゾリューション）において審議され可決された。

1. WG5: Date and Time

WG5は日付及び時刻の表記の標準化を担当。

* 日付及び時刻の表記標準ISO8601 Amendmentは主に編集上のエラーを修正するもので、本年10月4日に投票は完了している。
* 具体的な日時定義はISO 8601で規定されているが、それを補足するコンセプトと用語の整備を進めている（ISO34000シリーズ）。
* ISO34000シリーズには、次のものが検討されている。
* ISO34000 Concept and vocabulary：開発中
* ISO34100 Reference Timescales：提案中
* ISO34200 Time zone
* ISO34300 Calendar System (和暦、イスラム歴、仏教歴などの定義)

1. WG6: Trusted e-Communication

WG6は電子取引における電子コミュニケーションの信頼性に関わる標準化を担当。TC154総会では、WG6の委員長（Convenor: Jasmine Jang）はブロックチェーン・プロジェクト（TR 19626）の状況についてのみ発表を行った。

* ISO 14533-1 Part.1：CAdES (*CMS Advanced Electronic Signatures*)高度電子署名に対応するために行った[CMS(暗号メッセージ構文)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9A%97%E5%8F%B7%E3%83%A1%E3%83%83%E3%82%BB%E3%83%BC%E3%82%B8%E6%A7%8B%E6%96%87)形式の[デジタル署名](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%87%E3%82%B8%E3%82%BF%E3%83%AB%E7%BD%B2%E5%90%8D)の改訂版は公開された。
* 電子文書のコミュニケーション・プラットフォームとしてブロックチェーンを使用するためのガイドライン（TR 19626 Trusted Communication Platform for e-Document　Part3: Blockchain based implementation guide (Blockchain)）プロジェクトについて、ブロックチェーン全般を担当するISO TC307とのJWG（Joint Working Group）設置の提案が行われた。
* JWGが設置されたらTR19626はWG6からJWGに移管し、WG6は一時的に閉鎖するとの提案が含まれている。
* JWG設置提案はTC決議（リゾリューション）の審議で否決され、TC307との協業の仕方を検討するアドホック・グループを設置することが決議された。

1. WG7: Digital Business

WG7は電子ビジネスにおける相互運用性確保のための標準化を担当。

* 電子ビジネスのための企業モデル（ISO 5054 Enterprise Canonical Model ）
* ISO 5054-1（Architecture）はDIS投票が終了し、公開のためVisioファイルをPPTに変換しCS（Central Secretariat）に提出済み。
* Part 2: Application of ISO 15000-5（New Project提案予定）
* Part 3: Document content（OAGiよりFast-Track提案の予定）
* Part 4: Platform content（OAGiよりFast-Track提案の予定）
* Part 5: XSD representation（OAGiよりFast-Track提案の予定）
* Part 6: JSON schema representation（OAGiよりFast-Track提案の予定）
* ebXMLレジストリ・リポジトリ（ISO 15000-3 Registry and Repository )プロジェクトはDIS投票が終了し、コメント対応の編集中。
* Blockchainベースのスマートコントラクト・プロジェクト（ISO/PWI 16320-1：Smart contract-based B2B electronic transaction execution and verification – part 1: reference model）は、TC307リエゾンにレビューを依頼中。レビュー完了後にNP（New Project）投票にかける予定。
* Blockchainベースのplatform for cold chain food（ISO/AWI TR 16340）は、WDの準備中。
* カーボン・データ交換のための新しいプロジェクト（Carbon data interoperability）が中国により提案準備中。この標準は、パート１のフレームワークから始まる複数パートの標準となり、脱炭素化（Carbon Neutral）活動のためのカーボン・データ交換の標準化を目指している。
* 中国提案の製品品質データ交換のガイドライン・プロジェクト（Guidelines on risk-based product quality data interchange in E-commerce）が提案され、TR（Technical Report）としてPWI（New Work Item）に登録するよう要請がなされた。
* 中国より工業データ交換におけるBlockchain導入ガイド・プロジェクト（Technical requirements for blockchain implementation in industrial internet）が提案され、TR（Technical Report）としてPWI（New Work Item）に登録するよう要請がなされた。このプロジェクトを遂行するためにはTC307及びTC184との情報交換が必要となる。
* 中国より貿易デジタルの用語／コンセプトの整理統合を行うプロジェクト（Digital trade - Basic concepts and key initiatives）が提案され、TR（Technical Report）としてPWI（New Work Item）に登録するよう要請がなされた。

1. JWG8: Logistics Data Contents and Process

JWG8はUNECEとのJWG（Joint Working Group）で、物流データとプロセスの標準化を担当。

しかしながら、UNECEより適切な合同作業の運営がなされていないとのクレームがあり、TC154とUNECEの度重なる意見交換の末、2022年8月にUNECEは当JWGから撤退し、JWGは解散となった。解散時点で、JWG8のもとで進められていたプロジェクトは以下の通り。

* 物流情報サービスプロバイダー間のデータ交換標準（ISO 23355 Data Exchange between Logistic Information Service Provider）
* ブロックチェーンによる電子B/L（船荷証券）の実装標準（ISO 5909 Data interchange processes of blockchain based negotiable maritime bill of lading related to e-Commerce platform ）。

今後のUNECEとのJWGの在り方、及び現状推進中のプロジェクトの扱いにつき、次の3方式を中心に議論が行われた。

* TC154とUNECEは合同作業についての付帯条項（Terms of Reference）を合意した上で、JWG1とJWG8を統合したJWGを設置し、現状のプロジェクトを継続する。
* TC154とUNECEは合同作業についての付帯条項（Terms of Reference）を合意した上で、JWG8を再開する。
* 現行JWG8を解散し、TC154内に新たなWGを設立し、JWG8プロジェクトを継続する。

1. **Liaison Report**

議長よりTC154に提出された次のリエゾンの報告が紹介されたが、時間の関係で内容の説明は行われなかった。

TC46/SC11: Archives/Records management

PC317: Consumer protection: privacy by design for consumer goods and services

JTC1/SC31: Automatic Identification and data capture techniques

TC204: Intelligent transport systems

TC104: Freight containers

TC211: Geographic information/Geomatics

TC184: Automation systems and integration

TC307: Blockchain and distributed ledger technologies

TC321: Transaction assurance in E-commerce

UNECE: The United Nations Economic Commission for Europe

1. **Resolution**

編集チームよりResolution（決議）案が提出され、審議の上、添付の決議が採択された。

主な審議事項は次の通り。

* WG4（Standardized Document）の解散
* TC307とのJWG（合同作業グループ）設置提案🡺準備のためのアドホック設置
* JWG8（Logistics Data Contents and Process）の解散
* UNECEからのBuy-Ship-Pay参照モデル（Reference Data Model）のFast Track提案が提出される予定

1. **Next plenary meeting**

ISO TC154の次回総会は、2023年10月最終週に、Calconnect（[The Calendaring and Scheduling Consortium）の主催により、米国カリフォルニアまたは中国香港にてハイブリッド形式で開催される予定。](https://www.calconnect.org/)

＊ISO TC154の日本事務局はNPO日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）。